

試合番号 : 385	試合会場 : 宝来屋郡山総合体育館 (郡山総合体育館)	観客数 : 1,099						
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:06	試合時間 : 02:06						
主審 : 浅井 唯由	副審 : 早坂 行博							
デンソーエアリービーズ	通算 7勝 10敗 ポイント: 22	PFUブルーキャッツ	通算 7勝 10敗 ポイント: 23					
監督コメント	1	22 第1セット 25	3	24 第2セット 26	25 第3セット 20	28 第4セット 30	監督コメント	2年ぶりの郡山でのデンソーさんのホームゲームでしたが今日も素晴らしい雰囲気が出た。とても嬉しい。その中で勝利を手にする事が出来た。サーブ練習をしてきたがもう少しサーブスキルをリーグを通して高めていきたい。また試合の最後まで集中力を保って戦えるようにしていきたい。本日も応援、ありがとうございました。
要約レポート	今年度郡山で初のホームゲームとなるデンソーエアリービーズとPFUブルーキャッツとの対戦。第1セット、序盤ミスで流れがつかないデンソーに対し、要所でバルデスが得点を決めたPFUが第1セットを先取した。第2セット、デンソーはネリマンのスパイクで流れをつかんだが、終盤にPFUはバルデスのスパイクなどで逆転に成功。最後は志摩のブロックで第2セットを連取した。第3セット、序盤からデンソーの中元、ネリマンがスパイクで連続得点し、その後も多彩な攻撃で得点を重ねセットカウント1-2とする。第4セット、序盤から互角の展開となり、セット終盤、PFUのバルデス、アコスタがスパイクで打ち合いを制し、PFUがセットカウント3-1で勝利した。							

試合番号 : 386	試合会場 : 大田区総合体育館	観客数 : 1,337					
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:19	試合時間 : 01:19					
主審 : 明井 寿枝	副審 : 菅原 潤						
JTマーヴェラス	通算 14勝 3敗 ポイント: 41	日立Astemoリヴァール	通算 7勝 10敗 ポイント: 20				
監督コメント	3	25 第1セット 17	0	25 第2セット 20	25 第3セット 20	監督コメント	今日の試合は、皇后杯で敗れたJTを相手に悔しさを晴らすために対策を練って挑んだゲームでした。セットの前半から中盤にかけて自チームのミスが先行してしまい、やりたいことができないまま敗戦してしまいました。明日はブロックが高く粘り強いJTに対してどう仕掛けるか考え勝つための準備をしていきたいと思ひます。アウェイの中ですが、明日も応援よろしくお願ひします。
要約レポート	現在トップを走るJTマーヴェラス対何と上位チームに食い込みたい日立Astemoリヴァールの戦い。第1セット、序盤JT林のサーブから連続得点となりリードを奪った。それに対し日立Astemoは野中、入澤が応戦する。また中盤ではセッターを境に代え流れを変えようとしたが、勢いは止まらず最後はJT林のスパイクが決まりこのセットを手に入れた。第2セット、スタートでJT柳井のサーブから連続4得点しリードを奪い主導権を握る。日立Astemoは中盤、入澤のブロックなどで点差を詰め、セッターを境に代えたが、波に乗るJTは林のブロックが決まり、このセットを手に入れた。第3セット、このセットも序盤からJTが主導権を握る。対する日立Astemoは、中盤にタップを投入。オクム大庭、タップ、野中のアタックが決まり追いつくに見えたが、最後は相手のミスを読みJTが勝利を手に入れた。						

試合番号 : 387	試合会場 : 岐阜メモリアルセンター で愛ドーム	観客数 : 1,755						
開始時間 : 15:05	終了時間 : 17:04	試合時間 : 01:59						
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 来川 知裕							
東レアローズ	通算 12勝 5敗 ポイント: 35	NECレッドロケッツ	通算 12勝 3敗 ポイント: 36					
監督コメント	1	23 第1セット 25	3	25 第2セット 20	28 第3セット 30	23 第4セット 25	監督コメント	非常にタフで苦しいゲームでしたが最後まで攻め続ける事が出来た事が良かった。ゲーム中盤まで東レのサーブに苦しめられましたが、終盤にかけて私達がサーブでリズムを取り戻せた事が大きかったです。明日はより厳しいゲームになることが予想されるので、短い時間の中でリカバリーと準備をしていきたいです。本日も沢山の熱い応援をありがとうございました。明日もよろしくお願ひします。
要約レポート	現在、互いに首位を争い、2位につける東レアローズと、3位のNECレッドロケッツとの一戦。昨年末の皇后杯決勝戦で熱い火花を散らした両チーム。V・レギュラーラウンドも中盤となる中、岐阜の地をホームゲームとした東レは何としても勝利を取りたいところ。第1セット、序盤から激しい点の取り合いとなり、会場が熱気に包まれる。NECは山田、古賀、古谷を核に、対する東レはクランを軸に攻撃を組み立てていく。20点以降の勝負にもつれ込んだこのセット、東レの反撃をしのいだNECが先取した。第2セットの序盤、相手チームのミスに乗じて東レが一歩リードする。中盤以降、必死に食いさがるNECを西川のブロック、石川のアタックで切り抜け、最後は小川のアタックで締めくくった東レがセットを取り返した。第3セット、東レのクラン、小川、石川がアタックで得点を重ね、ゲームの主導権を握る。要所でサービスエースも決まり、東レのペースが進むも、NECは連続得点をからめながらじわじわと追い上げる。山田、古谷が奮起したNECは劣勢を跳ね返し、デュースに持ち込んだ末に、最後は古谷が2本連続でアタックを決めきり、このセットをもぎ取った。第4セットは手に汗握る一進一退の攻防が繰り返される。この状況を抜け出したのはNEC。20点以降、NECは古賀がアタックを決めきり、その後もクラン、石川で追いつがる東レを山田、古谷のアタックで退けたNECが上位対決で勝利を取った。							

試合番号 : 388	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイニング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 981					
開始時間 : 12:05	終了時間 : 13:33	試合時間 : 01:28					
主審 : 新田 浩幸	副審 : 小松 剛						
ヴィクトリーナ姫路	通算 2勝 15敗 ポイント: 9	トヨタ車体クインシーズ	通算 9勝 8敗 ポイント: 25				
監督コメント	0	22 第1セット 25	3	16 第2セット 25	21 第3セット 25	監督コメント	スタートからいい集中力を持ち戦ってくれた。相手の粘りにひるむことなく攻め続けられたことが勝利につながったと思う。また、修正すべきポイントがあるので、明日のゲームではしっかり修正して臨みます。本日も応援ありがとうございました。明日も引き続きよろしくお願ひします。
要約レポート	ヴィクトリーナ姫路が本拠地姫路での2023年初めの試合、トヨタ車体クインシーズを迎えて対戦した。第1セット、両者一歩も譲らず16-16のタイスコアから、トヨタ車体は鳴原、ダニエルのアタックで2点差とする。対する姫路は佐々木のブロック、宮部の強烈なアタックで追撃するが、最後はトヨタ車体が鳴原のブロックで逃げ切った。第2セット、姫路は田中がサービスエース、好レーブ、バックアタックと奮闘する。しかし、トヨタ車体はセッター山崎を中心に多彩な攻撃でリードし、粘る姫路を突き放してセットを連取した。第3セット、地元ファンが声援を受けた姫路は古市、宮部にボールを集めて得点を重ね一進一退の展開とする。トヨタ車体はダニエルを軸にした攻撃で譲らない。中盤に周田がブロックを決めてリードすると、ハッパヤの効果的なサーブでリードを広げて勝利し、これで9勝目となり勝数を先行させた。						

試合番号 : 389		試合会場 : 笠岡総合体育館				観客数 : 669						
開始時間 : 13:30		終了時間 : 15:25		試合時間 : 01:55		主審 : 戸川 太輔		副審 : 饗庭 和恵				
岡山シーガルズ		通算	3勝	12敗	20	第1セット	25	KUROBEアクアフェアリーズ		通算	4勝	11敗
			ポイント:	12	27	第2セット	25				ポイント:	11
監督コメント	第1、第3セットに勝ち取るチャンスがある中、仲間を動かすプレーが逆になり、動きかける運びとなってしまった。そういった点を修正し、自然な動きを作り出す姿勢を意識し、挑戦することが急務。明日、更に頑張りますので引き続きの応援よろしくお願いします。											
	相手チームのディフェンスが非常に良く、我慢する状況が多いゲームであったが、集中力を切らず最後まで戦うことができた。交代で入った選手も要所で力を発揮し、日頃のトレーニングの成果を見せてくれた。本日の課題を共有し、明日も全力で戦います。											
	お互い勝ち星を重ね順位を上げたい岡山シーガルズとKUROBEアクアフェアリーズの一戦は、岡山のホーム笠岡総合体育館で行われた。											
	第1セット、序盤からKUROBEがコクラム、イヴェギンを中心に得点しリードを奪う。岡山も選手交代から流れを掴みにかかるが、終盤に入ってもKUROBEが多様な攻撃から得点を重ね、セットを先取した。第2セット、何とか反撃したい岡山は、徐々に粘り強いレシーブからリズムを掴み、互角の展開でスタートする。対するKUROBEもセッターの安田の多彩なトス回しから得点し、終盤まで競り合いが続く。											
	第3セット、このセットも立ち上がりから互角の展開でスタートする。岡山は佐伯やタナッチャ、KUROBEはコクラムやイヴェギンを中心に得点を重ね、終盤まで競り合いが続くが、最後はKUROBEイヴェギンのブロックが決まり、このセットを奪った。第4セット、勢いに乗ったKUROBEがイヴェギンやコクラムの活躍などで序盤からリードを奪う。更にKUROBEは山口のブロックなどでリードを広げる。岡山も長瀬の連続サービスエースから反撃するが、KUROBEがリードを守りこのセットも奪い、岡山のホームでKUROBEが勝利を飾った。											

試合番号 : 390		試合会場 : 照葉積水ハウスアリーナ (福岡市総合体育館)				観客数 : 1,490						
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:08		試合時間 : 02:08		主審 : 山本 晋五		副審 : 黒岩 健				
久光スプリングス		通算	10勝	7敗	20	第1セット	25	埼玉上尾メディックス		通算	11勝	4敗
			ポイント:	29	21	第2セット	25				ポイント:	31
監督コメント	埼玉上尾メディックスのディフェンスが良く、ロングラリーが続く場面が多かったが、相手と比べてラリーを取り切る場面が少なかった。相手の良いディフェンスからどうやって得点を取っていくかをチーム全員で準備し、明日の大事な一戦に臨みたい。											
	久光スプリングスは攻撃力が高いチームという前提で準備を進めてきました。選手たちはアタックだけではなく、ブロックもディフェンスも攻める気持ちを持って戦ってくれました。明日はまた気持ちを切り替えて、一つ一つのプレーの精度を高められるよう、強い気持ちを持って臨みたいと思います。本日もたくさんの応援ありがとうございました。											
	上位進出を争う4位久光スプリングスと、5位埼玉上尾メディックスの一戦。											
	第1セット、埼玉上尾はフェイントやブッシュ攻撃を多用し久光のレシーブを崩すと、中盤、ロゾの3連続得点で一気にリードを広げる。久光もファンヘッケのサイド攻撃と荒木のブロード攻撃で粘りを見せるが、最後はサンティアゴの速攻が決まって埼玉上尾がセットを先取した。											
	第2セット、両チームともサイドからの攻撃による攻防で、一進一退の攻防が続く。埼玉上尾はロゾの安定した攻撃でブレイクを重ねると、青柳の速攻や佐藤、内瀬戸が巧みにブロックタッチを取る攻撃でリードを広げ、セットを連取した。											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント:	-		第2セット					ポイント:	-
監督コメント												
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :				
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント:	-		第2セット					ポイント:	-
監督コメント												
要約レポート												